

【国道353号線】
国道の割にコーナが多い道だが、13図前後はここ数年道路改良が進み、快走国道になっている。

米野から国道353号線に抜ける道。
右手に赤城山、左手に榛名山が一望できる。
いつも少し臭い道だが(笑)、私の好きな道。

【米野ふるさと公園／赤城神社】
DWR20以来10年ぶりに訪れたが、何も変わって
いなかった。
試走で2回立ち寄ったが、2度ともご老人たちが
ゲートボールに動んでいた。
子供の姿は、10年前も今回も一度も見なかった...

【九十九山】
近くを走っていると、カーナビに表示されるので、
どんな山だろうと気になっていたが、古墳の様だ。
古墳時代後期の6世紀前半頃のものらしい。
クイズを置いた場所は、古墳の上になる。

【群馬県総合スポーツセンター】
1981年に群馬県総合体育センター
として開設。
1983年のあかぎ国体の会場として
使用された。
1996年にぐまアリーナが完成した。
現在は命名権で、「ALSOKぐま
アリーナ」と呼ばれている。

【上毛大橋】
前橋市内にある利根川に架かる橋
としては2番目に新しく、一番勾配が
きつい橋。
初日の出スポットとしても有名で、
赤城山、榛名山、浅間山が望める
眺めが良い橋。

【大波橋】
日本百名橋に選ばれている橋で、
現在の橋は3代目。
左岸側には萩原朔太郎の詩碑がある。
ここからは、赤城山、県庁などの眺めが
良い。

【敷島公園】
公園の北端にあるバラ園には、DWRで何度か
ゴールを置いたが、今回は南端の入口をゴール
とした。河川敷のグラウンドを含めて、サッカー
・ラグビー場、野球場、テニスコート、屋内・屋外
プールなどスポーツ施設が多数ある。
陸上競技場は、J2「ザスパクサツ群馬」のホーム
グラウンドになっている。

2000年のDWR9でクイズにした31図手前の骨董店の
ポストは、かなり数が減っていた。
「ナコレ珍百景」に出た時がピークだった様子。
2000年当時、1本50万円って店主は言っていたが、
結構売れるのかな...?

【瑞蓮寺】
上州七福神恵比寿尊天霊場である他、
東国花の寺百ヶ寺の一つで、春は桜・つつじが咲く。
また、境内には「七不思議」がある。

赤城南面第2道路(空っ風街道)
1/14の雷の残響が多く、国道353号線を走るコースに変更した。
16図先にDWR46で紹介した「山菜まんじゅう本舗・武本」がある。
小腹が空いた方はどうぞ。

【とんとん広場】
日刊工業新聞でその飼育方法が紹介された
「林牧場」がつくる「福豚」を販売するお店で、
入口でミニブタが出迎えてくれる。
売店、レストランの他、ウイナー体験教室など
もある。

【サンデンフォレスト
／わくわく自販機ミュージアム】
サンデンフォレストは自然との共生を第一に、
「近自然工法」を取り入れ、設置された環境
共生工場。
敷地内でオオムラサキや野鯉の飼育をし、
色々な自然体験プログラムが開催されている。
事前申し込みで工場見学ができる。
その一角にあるのが、「わくわく自販機ミュージ
アム」。
社)日本自動販売機工業会の施設であるが、
サンデンが企画し運営もサンデンが行っている。
ここも事前予約が基本であるが、当日飛び込み
でも見学ができる。懐かしい自販機が展示されて
いる。

【上電バス開通記念碑】
「オラが村にバスが来た！」という当時の村の方々の
喜びの大きさが伝わってくる。
が、今はもうバスはここには来ない...。
群馬の公共交通事情を物語る。

【鼻石】
旧鼻石村(現鼻毛町)の名前の由来になっている石。
石にある二つの穴に苔が生えて、鼻毛の様に見えるからと
いう俗説もあるが、もともと、「はながいし」と呼んでいたのが
「鼻毛石」になった様だ。
前橋市に合併される際、町名を変えるか否かの投票が行われ、
村民(町民)の総意で守った町名である。

【小坂子八幡神社】
運動途中にある神社。道路側は木々が茂っているので、もっと
荘厳なイメージを持っていたが... (笑)
試走時、猫ちゃんが3匹出迎えてくれた。

【船津伝次平の墓】
上毛かるたに「老農 船津伝次平」と詠われている
船津伝次平は日本三大老農の一人。
西洋農法と日本農法のよいところを併せ持つ混同農法
(船津農法)を生み出し、日本農業の近代化に大きく貢
献した。

【前橋駅】
昨年3月に北口整備がされ綺麗になり、また11月に
旧イトーヨーカ堂跡に商業施設「エキータ」が出来た。
それまでは昼食を食べる店もなく、これが県庁所在地
の駅！？と思う様な駅前の雰囲気だった。
駅前ロータリー内の駐車場は、20分間は無料。

第50回D-Wind Rally Course Layout

小さな黒数字はコマ図番号です。
※クイズの位置はおよその位置です。